【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2002-515900(P2002-515900A)
【公表日】平成14年5月28日(2002.5.28)
【出願番号】特願平10-537985
【国際特許分類第７版】
ＣＯ７Ｃ 317/46
Ａ６１Ｋ 31/165
Ａ６１Ｋ 31/17
Ａ６１Ｋ 31/18
Ａ６１Ｋ 31/341
Ａ６１Ｋ 31/36
Ａ６１Ｋ 31/381
Ａ６１Ｋ 31/401
Ａ６１Ｋ 31/4164
Ａ６１Ｋ 31/4184
Ａ６１Ｋ 31/4196
Ａ６１Ｋ 31/42
Ａ６１Ｋ 31/421
Ａ６１Ｋ 31/423
Ａ６１Ｋ 31/426
Ａ６１Ｋ 31/428
Ａ６１Ｋ 31/44
Ａ６１Ｋ 31/4436
Ａ６１Ｋ 31/4453
Ａ６１Ｋ 31/47
Ａ６１Ｋ 31/472
Ａ６１Ｋ 31/505
Ａ６１Ｋ 31/5375
Ａ６１Ｋ 31/54
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｐ 43/00
ＣＯ７Ｃ 323/65
ＣＯ７Ｄ 213/30
ＣＯ７Ｄ 213/32
ＣＯ７Ｄ 213/63
ＣＯ７Ｄ 213/70
ＣＯ７Ｄ 213/81
ＣＯ７Ｄ 213/82
ＣＯ７Ｄ 215/48
ＣＯ７Ｄ 217/26
ＣＯ７Ｄ 233/84
ＣＯ７Ｄ 235/08
ＣＯ７Ｄ 239/26
ＣＯ７Ｄ 239/28
ＣＯ７Ｄ 239/34
ＣＯ７Ｄ 239/38
ＣＯ７Ｄ 241/12

C07D 249/12
C07D 263/46
C07D 263/54
C07D 263/58
C07D 277/36
C07D 277/56
C07D 277/62
C07D 277/70
C07D 295/08
C07D 295/14
C07D 307/56
C07D 317/62
C07D 317/64
C07D 333/38
C07D 409/04
C07D 413/04

【FI】

C07C 317/46
A61K 31/165
A61K 31/17
A61K 31/18
A61K 31/341
A61K 31/36
A61K 31/381
A61K 31/401
A61K 31/4164
A61K 31/4184
A61K 31/4196
A61K 31/42
A61K 31/421
A61K 31/423
A61K 31/426
A61K 31/428
A61K 31/44
A61K 31/4436
A61K 31/4453
A61K 31/47
A61K 31/472
A61K 31/505
A61K 31/5375
A61K 31/54
A61K 45/00
A61P 43/00 111
C07C 323/65
C07D 213/30
C07D 213/32
C07D 213/63
C07D 213/70
C07D 213/81
C07D 213/82

Ｃ０７Ｄ 215/48		
Ｃ０７Ｄ 217/26		
Ｃ０７Ｄ 233/84		
Ｃ０７Ｄ 235/08		
Ｃ０７Ｄ 239/26		
Ｃ０７Ｄ 239/28		
Ｃ０７Ｄ 239/34		
Ｃ０７Ｄ 239/38		
Ｃ０７Ｄ 241/12		
Ｃ０７Ｄ 249/12	５１２	
Ｃ０７Ｄ 263/46		
Ｃ０７Ｄ 263/54		
Ｃ０７Ｄ 263/58		
Ｃ０７Ｄ 277/36		
Ｃ０７Ｄ 277/56		
Ｃ０７Ｄ 277/62		
Ｃ０７Ｄ 277/70		
Ｃ０７Ｄ 295/08		Ｚ
Ｃ０７Ｄ 295/14		Ｚ
Ｃ０７Ｄ 307/56		
Ｃ０７Ｄ 317/62		
Ｃ０７Ｄ 317/64		
Ｃ０７Ｄ 333/38		
Ｃ０７Ｄ 409/04		
Ｃ０７Ｄ 413/04		

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月24日(2005.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手　続　補　正　書

平成１７年２月２４日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成１０年特許願第５３７９８５号

2. 補正をする者

事件との関係　特許出願人

名　称　モンサント　カンパニー



3. 代　理　人

居　所　〒100-0004　東京都千代田区大手町二丁目２番１号
新　大　手　町　ビ　ル　ヂ　ン　グ　３　３　１
電　話　（３２１１）３６５１（代表）
氏　名　（６６６９）　浅　村　　皓



4. 補正対象書類名

請求の範囲

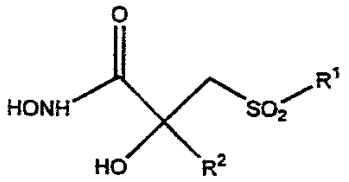
5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容　　別紙のとおり

請 求 の 範 囲

1. 式Ｉ



Ｉ

（式中、R^2はヒドリド、C_1～C_4ヒドロカルビル、ヒドロキシC_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロキシ、ハロ－C_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロキシメチル、アミノメチル、（Ｎ－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（Ｎ，Ｎ－ジ－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（Ｎ－モルホリノ）メチル、（Ｎ－ピロリジノ）メチルまたは（Ｎ－チオモルホリノ）メチル基であり、また

R^1は上記に示すSO_2－基に直接結合し、且つヘキシル基のおおよその長さより長くまたエイコシル基のおおよその長さより短い長さを有する５員環または６員環のシクロヒドロカルビル、複素環、アリールまたは複素アリール基を含む置換基であり、またこのR^1は６員環基のSO_2に結合する１－位および、４－位を通過して延びるあるいは５員環基のSO_2に結合する１－位およびこれの３，４－結合の中央を通過して延びる軸のまわりに回転する時、３次元の体積を区画し、またこの回転軸に対して直角方向のこの体積の最大の寸法はフラニル環一つのおおよその寸法からフェニル環二つのおおよその寸法までである。）
に相当する化合物。

2. ５員環または６員環のシクロヒドロカルビル、複素環、アリールまたは複素アリール基が、鎖長が炭素原子３～約１４個であるR^3で置換されている請求項１記載の化合物。

3. R^3置換基が、フェニル基、フェノキシ基、チオフェノキシ基、アニリノ基、フェニルアゾ基、ウレイドフェニル、ベンズアミドール、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミド基、複素環、複素環ヒドロカルビル、アリール複素環ヒドロカルビル、アリールヒドロカルビル、複素アリールヒドロカル

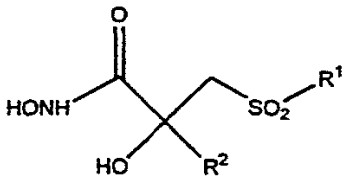
ビル、複素アリール複素環ヒドロカルビル、アリールヒドロカルビルオキシヒドロカルビル、アリールオキシヒドロカルビル、ヒドロカルボイルヒドロカルビル、アリールヒドロカルボイルヒドロカルビル、アリールカルボニルヒドロカルビル、アリールアゾアリール、アリールヒドラジノアリール、ヒドロカルビルチオヒドロカルビル、ヒドロカルビルチオアリール、アリールチオヒドロカルビル、複素アリールチオヒドロカルビル、ヒドロカルビルチオアリールヒドロカルビル、アリールヒドロカルビルチオヒドロカルビル、アリールヒドロカルビルチオアリール、アリールヒドロカルビルアミノ、複素アリールヒドロカルビルアミノおよび複素アリールチオ基からなる群から選択される請求項２記載の化合物。

4. R^3置換基そのものが、

ハロゲン、ヒドロカルビル、ヒドロカルビロキシ、ニトロ、シアノ、パーフルオロヒドロカルビル、トリフルオロメチルヒドロカルビル、ヒドロキシ、メルカプト、ヒドロキシカルボニル、アリールオキシ、アリールチオ、アリールアミノ、アリールヒドロカルビル、アリール、複素アリールオキシ、複素アリールチオ、複素アリールアミノ、複素アリールヒドロカルビル、ヒドロカルビロキシカルボニルヒドロカルビル、複素環オキシ、ヒドロキシカルボニルヒドロカルビル、複素環チオ、複素環アミノ、シクロヒドロカルビロキシ、シクロヒドロカルビルチオ、シクロヒドロカルビルアミノ、複素アリールヒドロカルビロキシ、複素アリールヒドロカルビルチオ、複素アリールヒドロカルビルアミノ、アリールヒドロカルビロキシ、アリールヒドロカルビルチオ、アリールヒドロカルビルアミノ、複素環、複素アリール、ヒドロキシカルボニルヒドロカルビロキシ、アルコキシカルボニルアルコキシ、ヒドロカルビロイル、アリールカルボニル、アリールヒドロカルビロイル、ヒドロカルボイルオキシ、アリールヒドロカルボイルオキシ、ヒドロキシヒドロカルビル、ヒドロキシヒドロカルビロキシ、ヒドロカルビルチオ、ヒドロカルビロキシヒドロカルビルチオ、ヒドロカルビロキシカルボニル、ヒドロキシカルボニルヒドロカルビロキシ、ヒドロカルビロキシカルボニルヒドロカルビル、ヒドロカルビルヒドロキシカルボニルヒドロカルビルチオ、ヒドロカルビロキシカルボニルヒドロカルビロキシ、ヒドロカルビロキシカルボニルヒドロカルビルチオ、アミノ、ヒドロカルビルカルボニルアミノ、アリールカルボ

ニルアミノ、シクロヒドロカルビルカルボニルアミノ、複素環ヒドロカルビルカルボニルアミノ、アリールヒドロカルビルカルボニルアミノ、複素アリールカルボニルアミノ、複素アリールヒドロカルビルカルボニルアミノ、複素環ヒドロカルビロキシ、ヒドロカルビルスルホニルアミノ、アリールスルホニルアミノ、アリールヒドロカルビルスルホニルアミノ、複素アリールスルホニルアミノ、複素アリールヒドロカルビルスルホニルアミノ、シクロヒドロカルビルスルホニルアミノ、複素環ヒドロカルビルスルホニルアミノおよびN－－置換またはN，N－二置換アミノヒドロカルビル基であって、窒素上の一つ以上の置換基がヒドロカルビル、アリール、アリールヒドロカルビル、シクロヒドロカルビル、アリールヒドロカルビロキシカルボニル、ヒドロカルビロキシカルボニルおよびヒドロカルボイルからなる群から選択されるか、あるいは窒素およびこれに結合する二つの置換基が５員～８員の複素環基または複素アリール環基を形づくるものからなる群から選択される一つ以上の置換基で置換されている請求項３記載の化号物。

5. 式Ｉ



Ｉ

（式中、R^2はヒドリド、C_1～C_4ヒドロカルビル、ヒドロキシC_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビルオキシ、ハロ－C_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビルオキシメチル、アミノメチル、（N－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（N，N－ジ－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（N－モルホリノ）メチル、（N－ピロリジノ）メチルまたは（N－チオモルホリノ）メチル基であり、

R^1は、他の単環のシクロヒドロカルビル、複素環、アリールまたは複素アリール基、C_3～C_{14}ヒドロカルビル基、C_2～C_{14}ヒドロカルビロキシ基、フェノキシ基、チオフェノキシ基、４－チオピリジル基、フェニルアゾ基、ウレイドフェニル基、ニコチンアミド基、イソニコチンアミド基、ピコリンアミド基、

アニリノ基およびベンズアミド基からなる群から選択される置換基にR^3によって、６員環の場合は４－位で、また５員環の場合は３－位または４－位でそれ自体置換されている、上示のSO_2基に直接結合している、５員環または６員環のシクロヒドロカルビル、複素環、アリールまたは複素アリール基を含む置換基である。）
に相当する化合物。

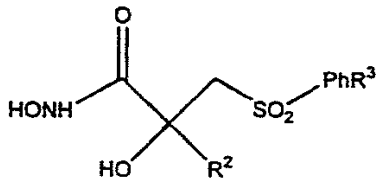
6. R^1置換基が、Phが、４－位でR^3によって置換されているPhR^3であり、そしてこのR^3がフェニル、フェノキシ、チオフェノキシ、フェニルアゾ、ベンズアミド、アニリノ、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたはウレイドフェニル基である請求項５記載の化合物。

7. R^1置換基が、Phが４－位でR^3によって置換されているPhR^3であり、そしてこのR^3が、ハロゲン、C_1～C_9ヒドロカルビロキシ基、C_1～C_{10}ヒドロカルビル基、ジーC_1～C_9ヒドロカルビルアミノ基、カルボキシルC_1～C_8ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基およびカルボキサミドC_1～C_8ヒドロカルビル基からなる群から選択される部分によって、メター位もしくはパラー位でまたはこれらの両方で望むならそれ自体が置換されている、あるいは二つのメチル基によりまたはメチレンジオキシ基によりメター位およびパラー位で置換されている、フェニル基、フェノキシ基、アニリノ基またはチオフェノキシ基、である請求項５記載の化合物。

8. R^1置換基が、PhがR^3によって４－位で置換されているPhR^3であり、またこのR^3置換基が、そのメター位またはパラー位あるいはこれら両方で、ハロゲン、ニトロ、C_1～C_8ヒドロカルビル、C_1～C_7ヒドロカルビロキシ、アミノおよびアミノ－C_2～C_4－ヒドロキシアルキル基からなる群から選択される部分で置換されている、ベンスアミド、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたはウレイドフェニルである請求項１記載の化合物。

9. R^1置換基がオクチル基の長さより長くまたステアリル基の長さより短い請求項１記載の化合物。

10. 式Ⅱ



Ⅱ

（式中、R^2はヒドリド、C_1～C_4ヒドロカルビル、ヒドロキシC_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロキシ、ハロ－C_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロキシメチル、アミノメチル、（N－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（N，N－ジ－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（N－モルホリノ）メチル、（N－ピロリジノ）メチルまたは（N－チオモルホリノ）メチル基であり、また

Phは、R^3によって４－位が置換されているフェニルであり、またR^3がフェニル、フェノキシ、チオフェノキシ、アニリノ、フェニルアゾ、ベンズアミド、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたはウレイドフェニル基であり、またこのPhR^3基がオクチル基のおおよその長さより長くまたステアリル基のおおよその長さより短い長さを有し、またフェニル基のSO_2に結合する１－位および４－位を通って延びる軸のまわりに回転する時、３次元の体積を区画し、またこの回転軸に対して直角方向のこの体積の最大の寸法はフラニル環一つのおおよその寸法からフェニル環二つのおおよその寸法までである。）
に相当する化合物。

11. R^3が、ハロゲン、C_1～C_9ヒドロカルビロキシ基、C_1～C_{10}ヒドロカルビル基、ジ－C_1～C_9ヒドロカルビルアミノ基、カルボキシルC_1～C_8ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基およびカルボキサミドC_1～C_8ヒドロカルビル基からなる群から選択される部分によって、メター位もしくはパラー位でまたはこれらの両方で望むならそれ自体が置換されている、あるいは二つのメチル基によりまたはC_1～C_2アルキレンジオキシ基によりメター位およびパラー位で置換されている、フェニル基、

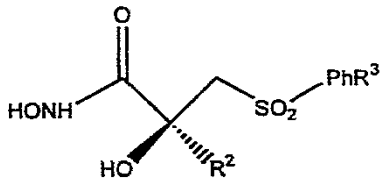
フェノキシ基、アニリノ基またはチオフェノキシ基である請求項１０記載の化合物。

12. R^3が置換されていないフェノキシまたはチオフェノキシ基である請求項１１記載の化合物。

13. R^3置換基が、そのメター位またはパラー位で、ハロゲン、ニトロ、C_1～C_8ヒドロカルビル、C_1～C_7ヒドロカルビロキシ、アミノおよびアミノ－C_2～C_4－ヒドロキシアルキル基からなる群から選択される部分で望むなら置換されている、ベンスアミド、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたはウレイドフェニル基である請求項１０記載の化合物。

14. R^2置換基がメチル、ヒドロキシメチル、メトキシメチルまたは（Ｎ－モルホリノ）メチル基である請求項１０記載の化合物。

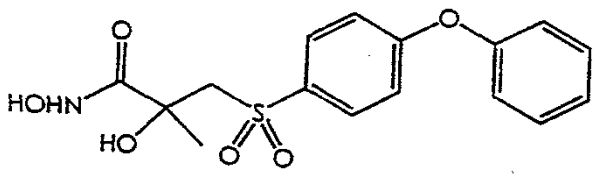
15. 化合物が式Ⅳ



Ⅳ

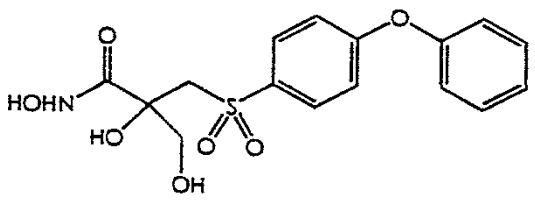
に示す立体配置を有する鏡像体である請求項１０記載の化合物。

16. 式



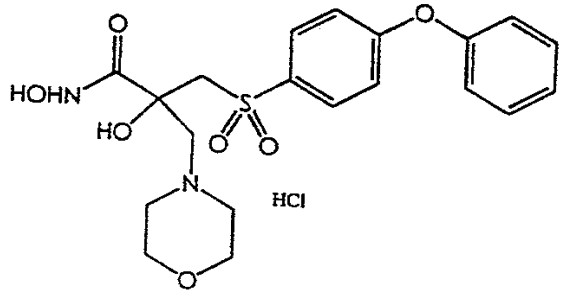
に相当する化合物。

17. 式



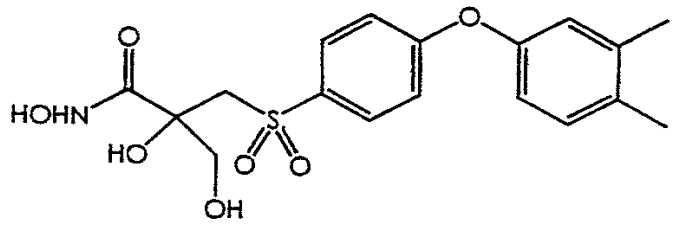
に相当する化合物。

18. 式



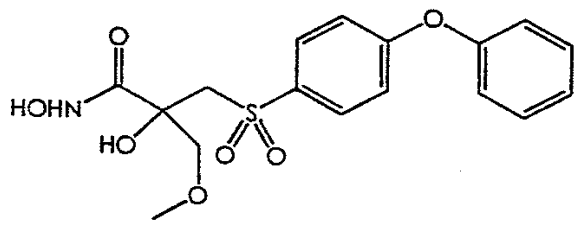
に相当する化合物。

19. 式



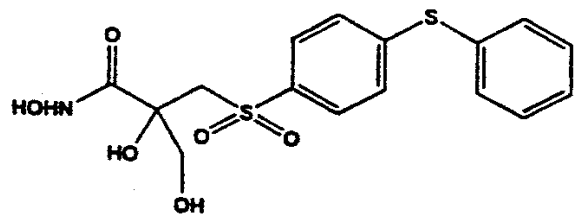
に相当する化合物。

20. 式



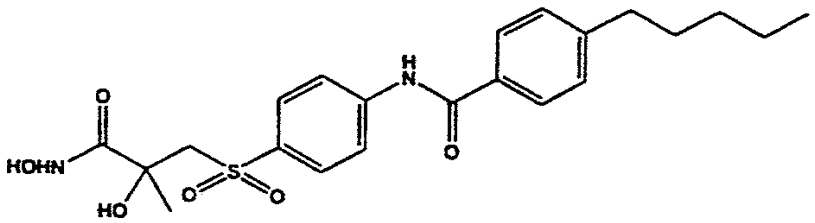
に相当する化合物。

21. 式



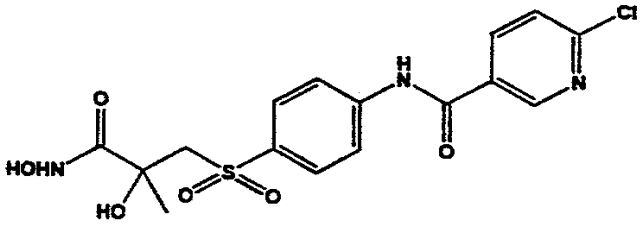
に相当する化合物。

22. 式



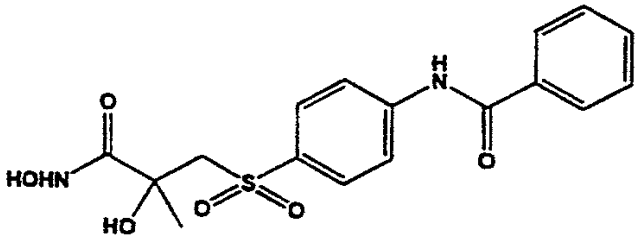
に相当する化合物。

23. 式



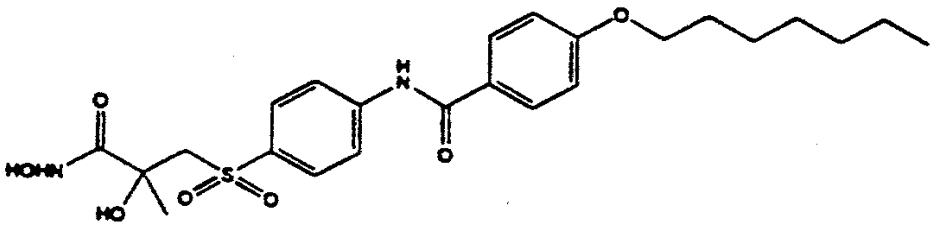
に相当する化合物。

24. 式



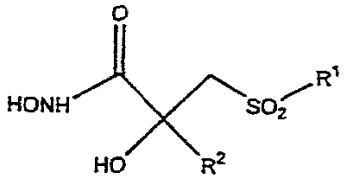
に相当する化合物。

25. 式



に相当する化合物。

26. 病的なマトリックスメタロプロテアーゼ活性と関わりのある状態を有する哺乳動物の宿主を治療するための医薬組成物であって、構造が式Ｉ



Ｉ

（式中、R^2はヒドリド、C_1～C_4ヒドロカルビル、ヒドロキシC_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロキシ、ハロ－C_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロキシメチル、アミノメチル、（Ｎ－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（Ｎ，Ｎ－ジ－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（Ｎ－モルホリノ）メチル、（Ｎ－ピロリジノ）メチルまたは（Ｎ－チオモルホリノ）メチル基であり、また

R^1は上記に示すSO_2－基に直接結合し、且つヘキシル基のおおよその長さより長くまたエイコシル基のおおよその長さより短い長さを有する５員環または６員環のシクロヒドロカルビル、複素環、アリールまたは複素アリール基を含む置換基であり、またこのR^1は６員環基のSO_2に結合する１－位および、４－位を通過して延びるあるいは５員環基のSO_2に結合する１－位およびこれの３，４－結合の中央を通過して延びる軸のまわりに回転する時、３次元の体積を区画し、またこの回転軸に対して直角方向のこの体積の最大の寸法はフラニル環一つのおおよその寸法からフェニル環二つのおおよその寸法までである。）
に相当する化合物を、ＭＭＰ酵素阻害を行うのに有効な量で含む、上記医薬組成物。

27. R^1が、５員環または６員環である単環のシクロヒドロカルビル、複素環、アリールまたは複素アリール置換基であって、また他の単環のアリールまたは複素アリール基、C_3～C_{14}ヒドロカルビル基、C_2～C_{14}ヒドロカルビロキシ基、フェノキシ基、チオフェノキシ基、アニリノ基、４－チオピリジル基、フェニルアゾ基、ウレイドフェニル基、ニコチンアミド基、イソニコチンアミド基、ピコリンアミド基及びベンズアミド基からなる群から選択される置換基R^3によ

って、６員環の場合は４－位で、また５員環の場合は３－位または４－位でそれ自体置換されている、上示のSO_2基に直接結合している５員環または６員環のシクロヒドロカルビル、複素環、アリールまたは複素アリール基を含む置換基である。）

請求項２６記載の医薬組成物。

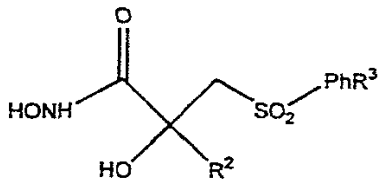
28. R^1置換基が、Phが４－位でR^3によって置換されているPhR^3であり、そしてこのR^3がフェニル、フェノキシ、アニリノ、チオフェノキシ、フェニルアゾ、ベンズアミド、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたはウレイドフェニル基である請求項２６記載の医薬組成物。

29. R^1置換基が、Phが４－位でR^3によって置換されているPhR^3であり、そしてこのR^3が、ハロゲン、C_1～C_9ヒドロカルビロキシ基、C_1～C_{10}ヒドロカルビル基、ジ－C_1～C_9ヒドロカルビルアミノ基、カルボキシルC_1～C_8ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基およびカルボキサミドC_1～C_8ヒドロカルビル基からなる群から選択される部分によって、メター位もしくはパラー位でまたはこれらの両方で望むならそれ自体が置換されている、あるいは二つのメチル基によりまたはメチレンジオキシ基によりメター位およびパラー位で置換されている、フェニル基、フェノキシ基、アニリノ基またはチオフェノキシ基、である請求項２６記載の医薬組成物。

30. R^1置換基が、PhがR^3によって４－位で置換されているPhR^3であり、またこのR^3置換基がそのメター位またはパラー位あるいはこれら両方で、ハロゲン、ニトロ、C_1～C_8ヒドロカルビル、C_1～C_7ヒドロカルビロキシ、アミノおよびアミノ－C_2～C_4－ヒドロキシアルキル基からなる群から選択される部分で望むなら置換されているベンスアミド、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたはウレイドフェニルである請求項２６記載の医薬組成物。

31. R^1基がオクチル基の長さより長くまたステアリル基の長さより短い請求項２６記載の医薬組成物。

32. 化合物が、式Ⅱ



Ⅱ

（式中、R^2はヒドリド、C_1～C_4ヒドロカルビル、ヒドロキシC_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロキシ、ハローC_1～C_4ヒドロカルビル、C_1～C_4ヒドロカルビロシメチル、アミノメチル、（N－C_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（N，N－ジーC_1～C_3ヒドロカルビル）アミノメチル、（N－モルホリノ）メチル、（N－ピロリジノ）メチルまたは（N－チオモルホリノ）メチル基であり、また

Phは、R^3によって4－位が置換されているフェニルであり、またR^3がフェニル、フェノキシ、アニリノ、チオフェノキシ、フェニルアゾ、ベンズアミド、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたウレイドフェニル基であり、またこのPhR^3基がオクチル基のおおよその長さより長くまたステアリル基のおおよその長さより短い長さを有し、またフェニル基のSO_2に結合する1－位および4－位を通って延びる軸のまわりに回転する時、3次元の体積を区画し、またこの回転軸に対して直角方向のこの体積の最大の寸法はフラニル環一つのおおよその寸法からフェニル環二つのおおよその寸法までである。）
に相当する請求項26記載の医薬組成物。

33. R^3が、ハロゲン、C_1～C_9ヒドロカルビロキシ基、C_1～C_{10}ヒドロカルビル基、ジーC_1～C_9ヒドロカルビルアミノ基、カルボキシルC_1～C_8ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基、C_1～C_4ヒドロカルビロキシカルボニルC_1～C_4ヒドロカルビル基およびカルボキサミドC_1～C_8ヒドロカルビル基からなる群から選択される部分によって、メター位もしくはパラー位でまたはこれらの両方で望むならそれ自体が置換されている、あるいは二つのメチル基によりまたはC_1～C_2アルキレンジオキシ基によりメター位およびパラー位で置換されている、フェニル基、

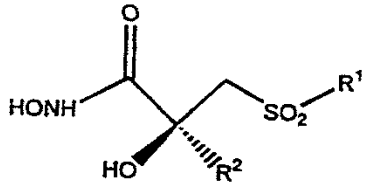
フェノキシ基、アニリノ基またはチオフェノキシ基である請求項２６記載の医薬組成物。

34. R^3が、置換されていないフェノキシまたはチオフェノキシ基である請求項２６記載の医薬組成物。

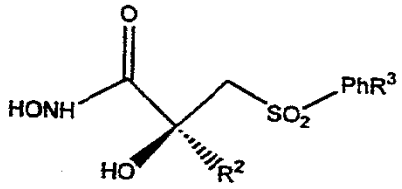
35. R^3置換基が、メター位またはパラー位で、ハロゲン、ニトロ、C_1～C_8ヒドロカルビル、C_1～C_7ヒドロカルビロキシ、アミノおよびアミノ－C_2～C_4－ヒドロキシアルキル基からなる群から選択される部分で望むなら置換されているベンスアミド、ニコチンアミド、イソニコチンアミド、ピコリンアミドまたはウレイドフェニル基である請求項２６記載の医薬組成物。

36. R^2置換基がメチル、ヒドロキシメチル、メトキシメチルまたは（Ｎ－モルホリノ）メチル基である請求項２６記載の医薬組成物。

37. 化合物が、式ⅢまたはⅣ



Ⅲ



Ⅳ

によって示される立体配置を有する鏡像体である請求項２６記載の方法。

38. 化合物を複数回投与するための請求項２６記載の医薬組成物。